



セキュアストレージの設定

- [セキュアストレージについて](#) (1 ページ)
- [セキュアストレージの有効化](#) (1 ページ)
- [セキュアストレージの無効化](#) (2 ページ)
- [暗号化のステータスの確認](#) (3 ページ)
- [セキュアストレージの機能情報](#) (3 ページ)

セキュアストレージについて

セキュアストレージ機能では、重要な設定情報を暗号化して保護できます。非対称キーペア、事前共有秘密、タイプ6のパスワード暗号化キーおよび特定のクレデンシャルを暗号化します。インスタンス固有の暗号キーは、危険にさらされることを防ぐためにハードウェアのトラストアンカーに保管されます。

セキュアストレージの有効化

始める前に

この機能はデフォルトで無効になっています。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 2	service private-config-encryption 例： Device(config)# service private-config-encryption	デバイスでセキュアストレージ機能を有効にします。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	end 例： Device(config)# end	特権 EXEC モードに戻ります。
ステップ 4	write memory 例： Device# write memory	private-config ファイルを暗号化し、暗号化フォーマットで保存します。

セキュアストレージの無効化

始める前に

デバイスでセキュアストレージ機能を無効にするには、次のタスクを実行します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	no service private-config-encryption 例： Device(config)# no service private-config-encryption	デバイスでセキュリティストレージ機能を無効にします。セキュアストレージを無効にすると、すべてのユーザデータがプレーンテキストで NVRAM に保存されます。
ステップ 3	end 例： Device(config)# end	特権 EXEC モードに戻ります。
ステップ 4	write memory 例： Device# write memory	private-config ファイルを復号し、プレーンフォーマットで保存します。

暗号化のステータスの確認

暗号化のステータスを確認するには、**show parser encrypt file status** コマンドを使用します。次のコマンド出力は、機能は利用できるが、ファイルが暗号化されていないことを示します。ファイルは「プレーンテキスト」形式です。

```
Device#show parser encrypt file status
Feature: Enabled
File Format: Plain Text
Encryption Version: Ver1
```

セキュアストレージの機能情報

次の表に、このモジュールで説明する機能のリリースおよび関連情報を示します。

これらの機能は、特に明記されていない限り、導入されたリリース以降のすべてのリリースで使用できます。

リリース	機能	機能情報
Cisco IOS XE Fuji 16.9.2	セキュアなストレージ	セキュアストレージ機能では、重要な設定情報を暗号化して保護できます。非対称キーペア、事前共有秘密、タイプ6のパスワード暗号化キーおよび特定のクレデンシャルを暗号化します。インスタンス固有の暗号キーは、危険にさらされることを防ぐためにハードウェアのトラストアンカーに保管されます。

Cisco Feature Navigator を使用すると、プラットフォームおよびソフトウェアイメージのサポート情報を検索できます。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスします。

